

京都文学賞の概要

実 施 案	
コンセプト	<p>(1) 京都を題材とする小説を募集し、表彰することにより、京都における文学の更なる振興とともに、「文化都市・京都」の発信や、京都の歴史と幅広い魅力の再認識、都市格の向上につなげる。</p> <p>(2) 新聞社、書店、出版社等と連携することにより、受賞作の出版や書店における展開など、受賞者への幅広い支援を検討し、新人作家の発掘、育成を図る。</p> <p>(3) 中高生を対象とした部門を設置することや、選考に一般読者の方にも参画いただくこと等により、若者の活字離れの防止はもとより、読書好きの若者をはぐくみ、広く市民が文学に親しむ機会の創出を図る。</p>
応募区分 ・資格	<p>(1) 「一般部門」、「中高生部門」、「海外部門」の3部門を設ける。</p> <p>(2) 京都在住の方に限らず、全国から作品を募集する。(海外からも受け付ける。)</p> <p>(3) プロ・アマを問わない。</p> <p>(4) 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方からの応募を対象とする。</p> <p>(5) 「一般部門」については、年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募することができる。</p>
募集作品	<p>(1) 京都を題材とする「小説」とする。</p> <p>(2) 純文学、時代小説、ミステリー等のジャンルは問わない。</p> <p>(3) 日本語で書かれた自作の作品に限る。</p> <p>(4) 未発表の作品に限る。</p> <p>(ただし、インターネット上で掲載された作品や、同人雑誌、自費出版物等で発表された作品については、営利を目的としていないものに限り、未発表とみなし応募を受け付ける。その場合、必ず掲載又は発表した媒体名を明記すること。)</p> <p>(5) 他の文学賞との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止。第三者の著作権、その他の権利・利益を侵害したり、そのおそれがない作品に限る。</p>
応募規定	<p>(1) 作品分量</p> <p>＜一般部門＞ ※手書き原稿不可 28,000字以上 160,000字以内</p> <p>＜中高生部門＞ ※手書き原稿も可</p> <p>・手書き原稿の場合 ⇒400字詰(20字×20行)原稿用紙で、20枚以上150枚以内</p> <p>・パソコン原稿の場合 ⇒400字詰(20字×20行)原稿用紙に換算して、20枚以上150枚以内</p> <p>※提出原稿は以下の書式(30字×40行)を使用のこと</p> <p>＜海外部門＞ ※手書き原稿不可 8,000字以上 60,000字以内</p> <p>(2) 原稿の書式</p> <p>＜パソコン原稿＞</p> <p>・A4判, 横長, マス目なし</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30 字×40 行 ・ 縦書き <p><手書き原稿（中高生部門のみ）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A4 判，横長 ・ 400 字詰（20 字×20 行）原稿用紙 ・ 縦書き <p>(3) 作品本文ページの左下に通し番号（ページ番号）を入れ，郵送の場合は右肩をクリップで綴じること（ホッチキス留めは不可）。</p> <p>(4) 応募方法は WEB の応募フォーム又は郵送のいずれかとする。</p>
賞の内容	<p><一般部門></p> <p>最優秀賞 1 点：賞金 100 万円，出版化</p> <p>優秀賞（又は選考委員特別賞） 1 点：賞金 50 万円</p> <p><中高生部門></p> <p>最優秀賞 1 点：図書カード 10 万円分</p> <p>優秀賞 1 点：図書カード 5 万円分</p> <p><海外部門></p> <p>最優秀賞 1 点：賞金 10 万円</p>
選考方法	<p><一次選考></p> <p>専門家により実施する。</p> <p><二次選考></p> <p>読者選考委員（40 名程度を公募により選定）により実施する。</p> <p><最終選考></p> <p>いしいしんじ氏（小説家），原田マハ氏（小説家），校條剛氏（評伝作家），読者選考委員数名，主催者の代表により実施する。</p>
表彰式・交流会	京都市内の会場にて，受賞者のほか，選考委員や出版社等を招いて実施する。